

朝ごはん運動実績報告（平成17年度）

基本方針	ガイドライン項目	ガイドライン			平成17年度 実施計画				担当課					
		ガイドライン	実績	評価	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	進捗状況等						
1 ごはんを中心とした食生活の改善	(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を欠食する児童生徒を、平成13年度の11.3%から0%を目指す 幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成15年度の16.7%から7%以下にすることを目標とする 目標 <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度 16.0% 平成17年度 15.0% 平成18年度 13.4% 平成19年度 11.8% 平成20年度 10.2% 平成21年度 8.6% 平成22年度 7.0% 脂肪や油脂をとりすぎない食生活を目指す 	欠食児童生徒 6.8% 肥満児割合 15.9%	△	朝食欠食状況調査の実施	3歳から14歳までを対象	年1回実施 対象者数 1,743人	10月実施（回収率94.0%） 対象者数 1,781人 調査数 1,675人	保健福祉課 教育委員会					
					肥満状況調査の実施	3歳から14歳までを対象	年1回実施 対象者数 1,743人	5月実施（回収率100.0%） 対象者数 1,752人 調査数 1,752人	保健福祉課 教育委員会					
					朝ごはん標語の看板設置	新設、補修等	随時実施	葛蒲川・胡桃館・梅沢・富士見小学校及び中央保育所に設置	保健福祉課					
					ごはんの大切さ啓蒙チラシ配布	毎戸配布	年2回実施	5月、11月実施	保健福祉課					
					簡単に作れる朝食メニューの紹介と料理教室の実施	子どもの保護者対象	年7回実施	8月、9月に各2回実施	保健福祉課					
					朝ごはん運動の推進啓発活動	教養講座及び成人式などの開催時	年10回実施	10回実施	公民館					
(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す 1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す 毎日1個のりんごを食べる 	塩分摂取量 12.4g	△	塩分濃度調査の実施	保健協力員を対象に漬物やみそ汁調査の実施	年1回実施 実施目標数810件	2月 871件 実施	保健福祉課						
				食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	啓蒙活動	年25回実施	28回実施	保健福祉課						
				野菜を使った料理教室の実施	学校、各地区を対象に実施	年10回実施	27回実施 (学校8、地区19)	保健福祉課						
				尿中塩分検査の実施	健康診査受診者他	年1回実施 対象者2,030人 目標 平均12.0g	実施者数2,112人 平均12.4g	保健福祉課						
(3) 安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 食生活と栄養に関する学習の場を増やす 安全な食品に対する情報提供の場を増やす 		○	専門講師による学習会の実施	町民を対象に実施	年1回実施	3月実施	保健福祉課						
				地区伝達講習会の実施（各学校及び各地区）	食生活改善推進員による安全な食品及び栄養に関する情報提供	年10回実施	27回実施 (学校8、地区19)	保健福祉課						
2 早寝、早起き運動の推進	(1) 規則正しい生活習慣の促進に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す 1日10,000歩のウォーキングを目指す（年齢や健康状態で歩数を個人で調整） 喫煙者の減少を目指す 1年に1回は健康診査の受診を目指す 	2000実績 県下順位 2010目標 基本健康診査 50.5% 28 85%以上 胃がん検診 43.2% 17 65%以上 大腸がん検診 46.9% 14 90%以上 肺がん検診 85.7% 1 90%以上 子宮がん検診 45.7% 2 60%以上 乳がん検診 49.5% 3 85%以上 ・十分な栄養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す	2005実績 57.8% 50.0% 54.7% 86.8% 41.1% 53.3%	△	健康診査の実施	町民ウォーキングの実施	津軽富士見湖一周 ほか	年3回実施 参加目標者数280人	5月、7月、10月実施 参加者数 288人	保健福祉課			
						生活習慣病予防学習会の実施	各地区で随時実施	年25回実施	28回実施 参加者数 2,514人	保健福祉課				
						基本健康診査	平成17年度目標受診数 2,030人 (58.0%)	平成17年度 (受診率57.8%) 対象者数 3,401人 受診数 1,967人	保健福祉課					
						胃がん検診	平成17年度目標受診数 1,700人 (47.9%)	平成17年度 (受診率50.0%) 対象者数 3,377人 受診数 1,687人						
						大腸がん検診	平成17年度目標受診数 2,134人 (55.0%)	平成17年度 (受診率54.7%) 対象者数 3,672人 受診数 2,008人						
						肺がん検診	平成17年度目標受診数 4,194人 (86.0%)	平成17年度 (受診率86.8%) 対象者数 4,251人 受診数 3,689人						
						子宮がん検診	平成17年度目標受診数 780人 (50.1%)	平成17年度 (受診率41.1%) 対象者数 1,444人 受診数 593人						
						乳がん検診	平成17年度目標受診数 820人 (50.1%)	平成17年度 (受診率53.3%) 対象者数 1,163人 受診数 620人						
						地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数40人		7月実施 参加者数 43人	公民館			
						通学合宿で体験学習	年1回実施 参加目標者数20人	9月実施 参加者数 26人	公民館					
						(2) 就寝及び起床の標準時間に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す 学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す 学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す 中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す 		○	就寝、起床時間の調査の実施	全児童、生徒を対象	年1回実施	9月実施（回収率94.0%） 対象者数 1,781人 調査数 1,675人	教育委員会
										早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施	4月、7月、11月各1回実施	教育委員会
											各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時に実施	4月（入学式）、7月（参観日）、11月（就学時健診）各1回実施	

基本方針	ガイドライン項目	ガイドライン			平成17年度 実施計画				担当課
		ガイドライン	実績	評価	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	進捗状況等	
3 安全及び安心な農産物の供給	(1) 農業等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項	・食用作物等への農業使用について、農業登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する	○	農業使用技術講習会開催	農事振興会及び共同防除組合等を対象に農業使用技術講習会を開催し、農業使用基準の遵守を図る	年1回開催	6月開催 参加者 50人 2月22日開催 参加者100人 3月1日JA開催 参加者200人	産業課	
				無登録農業使用禁止の啓蒙活動	チラシ・パンフレット配布	年1回配布	4月配布	産業課	
	(2) 農産物の生産履歴の記載に関する事項	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける	○	トレーサビリティシステムの構築	農協営業指導員及び各種代表者を主体とした検討会及び情報交換会の開催	年2回開催	4月20日開催 参加者 18人 12月21日開催 参加者 11人	産業課	
				水稲、りんご等の生産履歴記載の推進事業	検討会及び情報交換会の開催	年1回開催	7月実施 参加者 60人 3月1日JA開催 参加者200人	産業課	
	(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正JAS法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のJAS規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正当に評価される活動を展開する	○	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習会開催の情報提供	随時	2月21日開催 参加者 38人 3月30日開催 参加者 60人	産業課	
				農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじや等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	3月JA開催 参加者 80人 (農産物生産から販売研修)	産業課	
(4) 環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項	・特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業 ・土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する	○	青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定農家を増やす	目標認定農家12戸	認定農家 10戸	産業課		
			エコファーマー認定制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定者を増やす	目標認定者95人	認定者 122人	産業課		
(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項	・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する	△	食品の安全及び安心に係る情報	地域の消費者に、チラシやパンフレットなどを活用して情報の提供を行う	年1回実施	あるじや施設等へのポスター表示	産業課		
			鶴翔クリーンライスの取組の推進	クリーンライスの生産農家を増やす	目標生産農家100戸	生産取組農家 98戸	産業課		
4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進	(1) 地産地消の推進体制の整備に関する事項	・各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る	○	地場産品の生産振興の推進と消費拡大のための情報提供	地元消費を推進するためガイドマップを配布	年1回開催	データ収集中	産業課	
				大豆、米加工施設の建設	大豆・米の農産加工品を製造・販売し、地産地消の推進を図るための加工施設を整備する	1棟	事業着手～完了 (3月22日オープン)	産業課	
	(2) 町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」とい。）の積極的使用に関する事項	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方策を立てる	○	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	平均生産量54,000kgを1年間2,000kgの拡大を目標とし18年には60,000kgに生産量を拡大することを目標とする。 生産者を中心に農協営業指導員及び普及員の協力を基に生産体制を整え、また農協並びにあるじや等と連携し消費拡大を図る	「鶴の輝き」の目標生産量を56,000kgとする	反収平均9.5俵 生産量52,440kg	産業課	
				りんご産地ブランド化の確立の強化	園地の若返りや反収の向上及び高品質化を推進するための研究会及び現地研修会の開催	年1回開催	7月開催 参加者65人	産業課	
				スチューベンぶどうの産地ブランド化	水温CA長期高鮮度保管が可能により販売の拡大と高品質のワイン開発で産地の確立を図る	検討会1回開催	9月14日 意見交換会 15日 技術協議会 28日 ニッカ工場打合せ 3月27日 ケルナー打合せ	産業課	
				各料理教室の開催	町における料理教室	年18回開催 年4回開催	18回開催 11月・12月 2回開催 JA 8月・12月・2月 3回開催	公民館 産業課	
	(3) 地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す	○	学校給食応援隊の活動推進	各農家から直接に地場産品を提供してもらう制度の確立	24回実施 ジャガイモ、玉ねぎ等	24回実施 ジャガイモ206kg、ほうれん草63kg、漬け物187kg、きゅうり94kg、ピーマン32kg、玉ねぎ389kg、長ネギ68kg、白菜89kg、キャベツ47kg、大根163kg、トマトケチャップ40kg味噌21kg	給食センター 産業課	
				学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	完全米飯給食の実施 10月～りんごを提供	給食センター		
	(4) 町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項	・鶴翔農業協同組合、あるじや、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する	○	町内イベントでの地場産品の紹介	米消費拡大イベント「龍巻ずし」、農産物展、各種特産市等で紹介・販売	年4回開催	北地方産の日 7月17日、9月18日、11月20日 龍巻寿司 8月14日 鶴田高校体育祭 カレーライス米40kg使用	産業課	
				成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用	1月（成人式、連合婦人会研修会）、2月（実年式）で紹介	年3回開催	公民館		
つるたまつり・へら餅釣り大会等				全国へら餅釣り大会、じよっぱり酒まつり、つるたまつりで使用	年3回実施	商工観光課			
フッドリバー市民と親しくする会、外国青年による津軽弁大会、新年を祝う会、鶴の里懇話会で紹介				4月（フッドリバー市民と親しくする会総会）、7月（外国青年による津軽弁大会）で紹介	年4回実施	企画課			
町外イベントでの地場産品の紹介	川崎自治会イベント、川崎市民まつりで紹介・販売	年3回参加	川崎自治会イベント 8月27日～28日 12月10日～11日 川崎市民祭り参加 11月4日～6日	産業課					
ふるさと鶴田会、県庁鶴田会で紹介	6・7月（ふるさと鶴田会役員会、総会）、4月（県庁鶴田会）で紹介	年2回実施	企画課						

朝ごはん運動実績報告（平成17年度）

基本方針	ガイドライン項目	ガイドライン			平成17年度 実施計画				担当課
		ガイドライン	実績	評価	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	進捗状況等	
5 食育推進の強化	(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項	・保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す	○	ごはん作りの体験学習の実施	各学校対象	年1回実施	9月、鶴田小で2回実施 11月、富士見小で1回実施	保健福祉課	
				朝ごはん運動推進体験学習の実施	各学校対象	年1回実施	全小学校、中学校で朝ごはん運動推進体験学習を実施	保健福祉課 教育委員会	
				朝ごはん運動啓蒙人形劇等の実施	保育園児対象	各保育所等10施設で実施	各保育所等10施設で実施	保健福祉課	
				地域子ども教室推進事業	各小学校を対象に親子料理教室「キッズインザキッチン」の実施	全小学校	全小学校で実施	給食センター	
	(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項	・1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す	○	食と栄養に関する学習会の実施	各小学校の教育関係者を対象	年6回実施	全小学校で実施	給食センター	
(3)学校給食を通じた食育の推進に関する事項	・子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す	○	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年12回実施	年12回実施	給食センター		
			米飯用保温ジャー導入事業	バックごはんから保温ジャー使用	保温ジャーの予備分を予算計上	4L 5台、7.2L 5台購入	給食センター		
(4)国際交流による食育の推進に関する事項	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す	○	姉妹都市フードリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	3月20日鶴中生フードリバー親善訪問団員のテーブルマナー実施（保護者等53名参加）	教育委員会		
6 米文化の継承	(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項	・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す	○	町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各地で行われる特産品紹介イベント等に積極的参加	随時実施	川崎自治会イベント 8月27日～28日 12月10日～11日 川崎市民祭り参加 11月4日～6日	産業課	
	(2)伝統的な米文化の継承の推進に関する事項	・伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・地域における伝統的な米食文化の継承を目指す	○	米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	3小学校	6月7日 川崎京町小(田植え体験) 10月1日 鶴田小 三世代ふれあい祭り(餅つき) 11月17日 富士見小 おにぎり作り教室 11月20日 富士見小 米の販売体験(米づくり体験) 11月13日 胡桃鉏小 総合発表会(餅つき)(米づくり体験) 11月25日 梅沢小 防犯餅つき大会(米づくり体験) 1 11月26日 菖蒲川小 三世代ふれあい餅つき大会(米づくり体験)	教育委員会 産業課	